

# 小倉競輪の実施事務の包括委託

## 福岡県北九州市

人口：989,830 人

面積：487.66k m<sup>2</sup>

### 取組の概要

平成 15 年 4 月 1 日に改正自転車競技法が施行され、それまで自転車競技会にしか委託できなかった、車券の発払事務などの競輪実施事務について、私人及び他の地方公共団体にも委託が可能となった。

このことを受け、全ての競輪実施事務（法令で定められた施行者固有事務及び自転車競技会にのみ委託可能な事務を除く）を一つの民間事業者に包括的に委託し、経費の削減及び売上の向上に取り組んでいる。

### 取組の紹介

#### 1 取組の背景

- 本市の競輪事業は、平成 10 年度から、開催収支の赤字基調が続いており、平成 17 年 3 月には、民間有識者等からなる第三者委員会（北九州市企業会計・特別会計経営改善委員会）から、「事業の存廃をかけて抜本的に経営改革に取り組み、それでもなお経営の改善が見込まれない場合は、廃止を決断すべき」との提言を受けた。
- このような状況の下、本市の競輪事業の生き残りをかけた抜本的な経営改善策として、小倉競輪の実施事務の包括委託に着手した。

#### 2 取組の具体的内容

##### (1) 委託対象事務

施行者固有事務（開催日時の決定等）及び自転車競技会にのみ委託できる事務（審判、検査、選手斡旋等）を除いた全ての競輪実施事務。

具体的には、○車券の発売・払戻、○ファンサービス、○広報宣伝、○映像・放送、○警備、○清掃、○選手宿舎等管理、○施設管理事務、○その他競輪実施事務等

※ 包括委託実施後、施行者固有事務として市が担う業務

- 競輪開催の日時、場外発売受託場、競走の種類・回数等の決定
- 競輪開催中の投票事務、報道対応、場内取締その他開催全般の統括

- ・ 監督官庁、他の施行者、競輪関係団体等との連絡調整 等  
 [競輪実施に係る市の職員体制 8名(課長級1名、係長級3名、職員4名)]

(2) 委託期間

平成18年4月1日～平成21年3月31日

(3) 受託者

九州自転車競技会・(株)コアズ共同事業体

(4) 委託料

3ヵ年 3,426,885,000円

(5) 事業者選定の経緯

ア 業者選定方法

企画提案(コンペ)方式

イ 選定過程

- ・ 募集要項配布(平成17年12月6日～14日) 配布企業:24社
- ・ 募集要項等説明会(平成17年12月9日) 参加企業:15社
- ・ 現地説明会(平成17年12月12日～13日) 参加企業:13社
- ・ 参加申込(平成17年12月6日～14日) 申込企業:4社
- ・ 提案書提出(平成17年12月26日～平成18年1月10日) 提案企業:3社
- ・ 選定委員会 平成18年1月15日・16日・19日
- ・ 事業予定者決定 平成18年1月27日
- ・ 委託契約締結 平成18年2月28日

### 3 取組の効果

(1) 経費の削減効果見込み(H17⇒H18)

▲521百万円(年間)

(2) 人員減(H17⇒H18)

正規職員 ▲8人

嘱託職員 ▲10人

従事員(臨時的任用職員) ▲349人

- ・ 正規職員は配置転換、嘱託職員は委嘱期間満了により全員退職となった。
- ・ 臨時的任用職員については、本人への意向調査を実施し、職の斡旋を希望する者については、それぞれの希望に応じて包括受託者等への斡旋を行った。

### (3) 包括受託者による新たなサービス

- ・ 競技と一体化したファンサービスの実施（ガイダンスコーナーへ専門解説員の配置、打鐘体験、バックヤードツアー、素人足自慢競走、選手によるトークショー・オークション等の実施）
- ・ 来場促進策の展開（オリジナルポイントカードの新設、観戦ツアーの実施、競輪実施中の場内でのフリーマーケットや中古車展示会等イベント展開等）
- ・ 電話投票向けのCS・ケーブル放送番組を小倉競輪場内に新設した常設スタジオから放送するほか、競輪場外に大型電光掲示板を新設し、競輪情報等を館外に発信
- ・ 競技映像に力を入れたホームページのリニューアル、新たなメールサービスの実施などITに力を入れた情報発信の強化
- ・ 清掃の徹底によるクリーンな投票環境づくり、従業員一人一人のきめ細かい接客等アメニティの向上

## **4 取組中の課題・問題点**

- ・ 全国的に公営競技の発売額減少が続くなかで、収益を確保していくための仕組みづくりが課題となった。  
→ これまで施行者が行っていた競輪実施事務の具体的な運営ノウハウを、市職員から包括受託者へ競輪開催運営の中で実地に引き継いでいる。  
今後、包括受託者が替わった場合、運営ノウハウをどのように円滑に新たな受託者に引き継がせるかが課題となる。

## **5 住民の反応・評価**

- ・ 受託者の発案で、ファン参加型イベントを実施し、競技や選手への親近感が増大した。
- ・ 従事員、スタッフの接客が向上したとの評価を受けている。
- ・ 包括委託の実施に併せて、包括受託者の提案による投票機器を市が設置した結果、機器の自動化、発券の迅速化などにより、ファンの利便性が向上し、「便利になった。」と好評である。

## **6 今後の課題**

- ・ 包括委託の実施によって、経費の大幅な削減が見込まれるが、全国的に公営競技の発売額減少が続く状況のなか、本市競輪事業においても売上減少に歯止めがかからない場合、収益が確保できなくなるおそれがある。  
→ 本市と民間ノウハウを有する包括受託者とが一体となって更なる売上・集客の向上策に取り組むことが必要となっている。

## **7 今後取り組む自治体に向けた助言**

- ・ 受託者を選定するには、入札ではなく、コンペで選定したほうが、事業者の戦略、手法が確認でき、適切な事業者が選定できる。
- ・ 受託者選定のコンペにあたっては、様々な条件をつけるより、できるだけ自由な提案をしてもらうほうが、民間らしい発想を引き出すことができる。

### **(参考) 当該取組内容の関連ホームページ**

<http://www.kokurakeirin.com/>

**担当部署：経済文化局事業部管理課**